

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	354
事務事業名		会計	後期高齢者医療特別会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H20	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			高齢者の医療の確保に関する法律、同施行令、同施行規則等	
事業目的	対象	65歳以上認定者と75才以上高齢者			
	意図	収納率を上げるにより安定的な財源確保を行い、対象への適切かつ継続的な保険給付につなげます。			

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	県内全市町村が加入して設立された長野県後期高齢者医療広域連合で運営される高齢者の医療制度です。財源は、本人保険料1割、若い人からの支援金4割、公費5割。保険料は、県内統一の料率で所得による軽減措置があります。保険給付、保険資格の管理等の業務は、長野県後期高齢者広域連合で行われる。市では、保険料徴収、各種申請受付、制度PRを受け持ちます。市の会計は、特別会計を設置し、保険料の徴収及び一般会計からの繰入金で広域連合負担金をまかないます。		人件費				23,677	
			一般管理費				1,725	
			賦課徴収費				7,773	
			後期高齢者医療広域連合納付金				1,356,501	
			保険料還付金				361	
			予備費				0	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	被保険者数	人	17,756	17,954	18,087			
	保険料収納額	千円	999,310	1,040,917	1,083,582			
30年度 決算 (千円)	予算額	1,394,800	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,390,037	(そ) 保険基盤安定繰入金 273,062千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 事務費繰入金 33,175千円				
		県支出金	0	平成28-29年度の保険料は均等割額40,907円+所得割率8.30% 上限57万円				
		地方債	0	平成30年度の保険料は均等割額40,907円+所得割率8.30% 上限62万円				
		その他	306,237	保険料は、7, 5, 2割の軽減があり、軽減分として3/4が県から基盤安定として交付(市負担1/4)				
一般財源	1,083,800							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	20	1	1	1	1	1	24,346	23,677	人件費
2	20	1	1	1	10	1	2,041	1,725	一般管理費
3	20	1	2	1	10	1	8,827	7,773	賦課徴収費
4	20	2	1	1	10	1	1,357,486	1,356,501	後期高齢者医療広域連合納付金
5	20	3	1	1	10	1	2,000	361	保険料還付金
6	20	4	1	1	10	1	100	0	予備費
7									

振り返り課題認識	加入者および医療費が年々増加していて、保険制度を維持していくために、保険料の限度額の上昇、軽減特例が段階的に廃止になるなど、被保険者の負担が増加してきています。
上記の課題解決のための有効策	広報などを通じ制度を周知するほか、問い合わせの際には丁寧な説明をしてご理解をいただきます。また、徴収部門と連携して、収納率の維持も必要です。
次年度に向けての取り組み	次年度も軽減特例の段階的廃止が行われるため、引き続き、広報や保険証の更新時に制度の案内を同封するなどの制度周知や、徴収部門との連携を行っていきます。